

2016年5月号(第3号)

作成・発行 立命館大学 文学部 人文学科  
地域研究学域 京都学専攻

【目次】

1. 主任挨拶
2. 新任・他専攻からの教員挨拶
3. 卒業生から後輩へ贈るメッセージ
4. 京都学専攻の授業紹介
5. 新卒業生の就職先一覧
6. 立命館京都学研究会の活動記録
7. 立命館京都学研究会の案内

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

(Tel/Fax 075-466-3485)

(Mail: aso0605@fkc.ritsume.ac.jp)

立命館大学文学部京都学専攻facebook

<https://www.facebook.com/ritsu.kyotogaku/>

## 1. 主任挨拶

### 河島 一仁 教授

2016年度・前期の京都学専攻主任を務める河島一仁です。後期には、山崎有恒教授が主任を担当されます。

2016年3月に、京都学専攻として初の卒業生を送り出しました。立命館の文学部に、京都学を学べる専攻があることは、次第に世の中に知られるようになってきました。そして4月には、48名の新2回生を迎えることができました。教員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

京都学専攻では、京都に関するさまざまなことを研究テーマに選ぶことができます。もちろんそれが学問的なものであるかどうかは、担当の先生とじっくりと相談すべきです。でも、この専攻のいいところは、自由闊達に京都に関して論じられる点です。

優秀卒論を掲載した『立命館京都学 優秀卒業論文集2015』がまもなく刊行されます。先輩の努力の結果を熟読して、みなさんにその熱意と情熱を継承していただきたいと思います。

## 2. 新任・他専攻からの教員挨拶

### 田口 道昭 教授

日本近代文学、特に与謝野晶子や石川啄木などの短歌・評論を専門にしています。晶子は京都にもゆかりが深く、「四条橋おしろひあつき舞姫のぬかささやかに撲つ夕あられ」などの歌があります。授業では、京都を舞台にした小説、短歌、映画、マンガ、アニメを中心に上げます。個人的には『陰陽師』(小説・マンガ)や『パッチギ!』(映画)などの作品、神社仏閣巡りも好きです。いっしょに京都を楽しみましょう。

### 河角(赤石) 直美 准教授

2016年4月に京都学専攻に着任しました。専門は歴史地理学で、近年ではGISを活用したデジタル人文学にも取り組んでいます。特に、近代日本における自然と人間との関係性に関心をもちつつ、近代期に作成された地図や個々の記憶から、京都の景観や生活スタイルの詳細な変化について研究しています。地域の立場から歴史を考えることを念頭に、京都に埋もれた分厚い層を掘り起こしていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

### 3.卒業生から後輩へ贈るメッセージ

#### 高井 千幸(京都学専攻2015年度卒)

私は4年間の京都学の学びで、固定概念で物事を決めつけるのではなく、従来持っているイメージを取り払って研究することの大切さを学びました。京都学は文献等を読むのみの研究ではなく、実際にフィールドに出て勉強することができるという環境に恵まれている専攻です。実際に自分の目で見て感じるができるのが京都学の醍醐味です。皆さんもぜひ外へ出て様々なことを感じ取ってみて下さい。実りのある4年間をお過ごしください。

#### 田代 桃子(京都学専攻2015年度卒)

私は4年間で深めれば深めるほど<京都>という存在が、いかに多様で、掴みきれないものであるかを学びました。それは、この「京都学」という特性の為であると思います。京都学は、<京都>を多角的なアプローチで深めていく学問ですが、地理学的アプローチでも、観光的アプローチでも、文学的アプローチでも構いません。様々な視点で<京都>を眺めると、その都度違った表情の<京都>が見えてきました。違った表情が見えるが故に、ひとつのイメージでは捉えられません。しかし、なんでもやってみたい欲張りな私には、この自由な学びが正にぴったりの学問でした。1つの物事を多角的に眺める視点は、社会に出ても必ず求められるスキルでもあると感じます。

京都学は、学問的には歴史の浅い、まだまだ発展途上の学問であると考えます。京都学専攻所属の皆様には、是非、あなたにしかできない「京都学」を実践して欲しいです。どんなことに対しても興味・関心を持ち、積極的に<京都>というフィールドに出て、あなただけの<京都>を研究してください。

#### 杉山 美奈子(京都学専攻2015年度卒)

##### <京都学専攻で学ぶ上で>

「京都学専攻」という名称から、一見京都を学ぶ専攻のように思われますが、この専攻は「京都に学ぶ」専攻だったと感じています。ここには大学外と触れられる環境がいくつも用意されています。専攻で勉強しながら、地域と関わりを持ったり、伝統産業の実態を見ることができたり、色々と社会のことを考えさせられる機会は多いと思います。そういう機会に出会えたら、ちょっと考えて悩んでみて下さい。「京都」のことですが、それは京都に限ったことではないはずで、自分の地域、日本の抱える問題、巡り巡って自分自身の生き方にまで繋がっていくところがあると思います。そのように考えさせられたり、普通の生活を送っていたのでは見えてこないものを見ることができるという点で、京都はいろんなことを教えてくれると思います。京都学専攻がどういふものか、それは人によって感じ方が異なると思うので、みなさんそれぞれの京都学をぜひ見つけてみて下さい！

##### <後輩へのメッセージ>

大学では、自分の「好きなこと」を探して、見つけて、それを一所懸命(ちょっとでいいので)やれたらいいのではないかと思います。それには何より、楽しむことが大事です！！

そのためには、先生や大学側が用意してくれている機会は存分に活用して下さい。学費を納めた分、少しでも多く吸収して自分の糧にして下さい！

大学での学びが社会に出てから直接的に活かされることは少ないかもしれませんが、特に、この専攻で学んだ知識を実社会で活用するのは難しいと思います。しかし、頑張ったこと、取り組んだこと、というのは自分にとってこれから生きていく上で本当に大きな自信になります。私の場合は、京都学専攻でその自信を得ました。それは就活の時でも、いま社会に出てから(まだほんの短期間ですが笑)も私の芯になってくれています。「あの時ああやって乗り越えられたのだから、ちょっとやそつとじゃ折れないぞ」と、思うことができます。大学では、どんな形でもいいからそういう自分の自信になるものを築いてもらえたら、より大学生活やこれからの人生が有意義になるのではないかと思います。

#### 嶽 秋映(京都学専攻2015年度卒)

私は京都学専攻に所属して、京都とは一方的なイメージで計り知れない奥深い町であるということを知りました。世間的なイメージだと、舞妓、和菓子、抹茶、和服など、日本＝京都というイメージを持たれがちです。しかし、京都はそれだけではありません。琵琶湖の水を引く疏水の歴史、近代建築、戦争の歴史など、あまり知られていない京都の魅力は山のようにあります。京都学専攻では、自分の学びたい分野、例えば、歴史学であったり、地理学であったりと様々な観点から、京都の魅力を探ることができます。これは、他の専攻にはないやり方であり、京都という限定したフィールドに縛られているからこそ、より奥深くまで、地域の人との交流も含めた研究が行いやすいのだと思います。

これから京都について学ぶ皆さんを心より応援します。京都は楽しいです。じっくり観察し、学んでください。

## 4. 京都学専攻の授業紹介

立命館大学文学部京都学専攻facebookにも掲載しています。  
<https://www.facebook.com/ritsu.kyotogaku/>

### 京都学フィールドワークⅡ (担当: 木立 雅朗 先生)

木立先生ご担当のこの授業では、京都の伝統工芸を伝える職人さんたちから伝統工芸の現状について報告して頂き、可能な範囲で製作体験を行います。伝統を伝える職人さんたちの様々な苦労や思いについても伺う中で、「伝統を伝える」ためにどのような工夫がされているのか、職人さんの目から職人さんたちを取り囲む社会の有り様について、職人さん達と対話しながら考えることができます。例年、竹工芸・京水引・表装・人形・金属工芸・染色工芸・金箔などの職人さんにそれぞれ1~2回の授業で講義・製作体験の指導を受け、担当学生が職人さんへのインタビュー内容をもとにレポートを作成・編集して和綴じ本として刊行します。

この和綴じ本は和紙に「京からかみ」を使います。「京からかみ」は、和風建築の襖(ふすま)や壁紙などで用いられてきましたが、毎年受講生が「京からかみ」を実際に刷って和綴じ本の表紙を製作します。2016年4月14日(木)にはハワイ大学の留学生11名がこの「京からかみ」製作を体験し、京都学専攻の受講生たちに「京からかみ」の技法を伝授しました！



「京からかみ」表紙のレポート集



できあがった作品



木立先生によるデモンストレーション



講師の先生方の紹介



思い思いの作品を仕上げていきます



「京からかみ」レクチャー



## 5.新卒業生の就職先一覧 (2015年度卒業生)

- 【官公庁】 国家公務員一般職、安中市役所、調布市役所、静岡県人事委員会、京都府警察本部、京都府人事委員会、糸島市役所
- 【教育・芸術】 株式会社成基コミュニティ、学校法人真宗大谷学園 大谷中・高等学校、横浜市教育委員会、愛知県教育委員会、京都市教育委員会、大阪府教育委員会
- 【大学院進学・専門学校】 奈良女子大学大学院 人間文化研究科
- 【観光・交通】 エムケイ株式会社、全日本空輸株式会社、近江トラベル株式会社
- 【建設・製造】 エレコム株式会社
- 【コンサル・技術】 パナソニックシステムネットワークス株式会社、Profit Cube株式会社
- 【サービス・小売】 帝国データバンク、ライフコーポレーション、株式会社さとう、株式会社コスモス薬品、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド、株式会社エルハウジング、株式会社スギ薬局、株式会社あみだ池大黒、株式会社DYM、株式会社エリッツ建物管理、株式会社Fan's、日本デイリーネット株式会社、富士ランディック株式会社、株式会社浅山織物
- 【金融・保険】 株式会社山陰合同銀行、株式会社徳島銀行、株式会社八十二銀行、枚方信用金庫、株式会社広島銀行、株式会社福岡銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行

## 6.立命館京都学研究会の活動記録

京都学専攻では「京都」を軸に文学・歴史学・地理学をはじめ様々な分野から教育・研究・地域連携などの活動が盛んに進められていますし、これこそが京都学のいちばんの強みであります。

2015年度は4回開催されました。いずれも、「京都とは何か」、そして「京都学の進むべき方向は？」について非常に熱い発表と議論が行われました。詳細は以下の2015年度の活動記録をご覧ください。

2016年度も引き続き研究会を開催しますので、ぜひご参加いただければと存じます。

(今年度の前期中は5月27日(金)と6月24日(金)のいずれも18:00から京都学共同研究室で行う予定です。後期は決定次第、順次お知らせいたします。)

| 【発表者】        | 【タイトル】   | 【日時】        | 【場所】     | 【参加人数】 |
|--------------|--|-------------|----------|--------|
| 1回目 内田 孝 氏   | 「京都新聞総合研究所が目指すもの」                              | 2015年6月24日  | 京都学共同研究室 | 27名    |
| 2回目 山崎 有恒 先生 | 「世界地域学の動向と京都学<br>～京都学はどこへ向かうべきか？」              | 2015年9月30日  | 京都学共同研究室 | 30名    |
| 3回目 谷端 郷 先生  | 「昭和期京都市における浸水域の変遷<br>—GIS(地理情報システム)を用いた時空間分析—」 | 2015年11月25日 | 京都学共同研究室 | 18名    |
| 佐藤 弘隆 氏      | 「大規模京町家のアーカイブについて」                             |             |          |        |
| 4回目 谷崎 友紀 氏  | 「旅日記にみる近世京都の名所見物」                              | 2016年1月13日  | 京都学共同研究室 | 26名    |

## 7.立命館京都学研究会の案内

**皆様のご参加をお待ちしています!**

日時: 2016年 5月27日(金曜日)18:00～

※2016年度は金曜日開催となります。

会場: 京都学専攻・地域観光学専攻 共同研究室 (衣笠キャンパス、啓明館1階東端の部屋)

発表者とタイトル:

河角 直美 先生(立命館大学 文学部 人文学科 地域研究学域 京都学専攻)

**「『京都市明細図』から読み解く京都の景観変遷」**

参加費: 無料

事前申込: 不要

お問い合わせはこちらまで。

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

(Tel/Fax 075-466-3485)

(Mail: aso0605@fkc.ritsumeimei.ac.jp)